

海外展示会レポート

マレーシア・クアラルンプール

Malaysian Wood Expo (MWE)

木材加工の展示会、初開催
行政担当者の姿も

クアラルンプールで初開催された木工木材関連の展示会「Malaysian Wood Expo」には、木材加工工場で使用される製材機械や作業機の展示が並び、木材輸出国の行政担当者、木材加工機械メーカー、家具メーカー、貿易会社が集まった。

主要産業ながらも森林伐採に規制

ショベルカーや木材伐採用の収穫機を製造するTHAI AGENCY ENGINEERING (タイ) では、丸太用のショベルカーやバイオマス工場を使う木材チップの収集機が注目を集めた。サトウキビ収穫機はフィリピンの工場と50台ほど受注がまとまりそうだという(Chatchanok Towattanakulさん)

木材加工産業が盛んなマレー

シアではあるが、近年、地球環境への負荷を軽減するため、森林伐採に対する規制が強化されている。ウクライナ産の原木や木材を扱う代理店Kimberley Trade HB (スウェーデン) はリサーチを兼ねて出展し、製材工場が多いマレーシアの実態を確認した。「伐採が規制されても木材加工輸出はこの国の主要産業だ。そのため海外から原木や木

Malaysian Wood Expo 2019
会期: 2019年11月19日(火)~21日(木)
会場: Putra World Trade Centre (マレーシア・クアラルンプール)
主催者: Panels & Furniture Asia、Malaysian Timber Council
出展者数・小間数: 139社・150小間
出展者層: 木材製造・加工、木工加工機械、家具製造、塗料、表面印刷技術、原木輸出
来場者層: 木材加工業、家具製造業、木材関連製品、輸出入業、政府関係者

材を輸入する機会が増え、加工して再輸出する動きが加速するだろう。競合するのはニュージーランドやカナダになってくる」(Yuriy Kandaurovさん)

家具加工業や工場向けの自動塗装機などを扱うSPCL SYSTEMS (マレーシア) では、手動のエアスプレーガンの注目度が高かった。特に、性能が良い中間価格帯のものに多くの来場者が関心を示した。

オーストラリアから出展したオフィス、公共施設、自宅向けにデザインした商品販売するCabinet Vision South East Asiaは、自社でデザインし製品まで一括で請け負った木製製品を展示した。インドネシアやベトナムでも出展経験があり、他国とのマーケット比較を行うために出展した。アジア製品とは異なる西洋スタイルのデザインと施工が好評だった。

国際イベントニュース

定期購読の
ご案内

【年間購読料】

1万9200円(税別)

お申し込みはコチラ



TEL 03-3543-6761

WEB <http://ev-news.jp/>

国際イベントニュース

検索

主催者の声

世界から64の主要バイヤーを招待



◀ Malaysian Timber Council (マレーシア) Nomihan Abdul Rahmanさん(左)

Malaysian Timber Council は世界各国から主要バイヤーを64社招待した。中国からは製材機械の出展が多く、スウェーデン、ニュージーランド、チリなどの原木輸出会社も出展した。